

豊川市新しい夏の市民まつり 第4回実行委員会 議事録

- 1 件 名 豊川市新しい夏の市民まつり第4回実行委員会
- 2 日 時 令和6年2月15日（木）午前10時00分～午前11時30分
- 3 場 所 豊川市防災センター（1階）市民研修室＜豊川市役所本庁舎東側＞
- 4 出席者 32名（大会長1名・副大会長2名・実行委員長1名・副実行委員長2名
委員9名・監事2名・顧問3名・事務局12名）

大会長：1名

竹本大会長

副大会長：2名

與藤副大会長代理（松藤）・今泉副大会長

実行委員長：1名

笠原実行委員長

副実行委員長：2名

増田副実行委員長・長谷川副実行委員長

委員：9名

石黒委員・大場委員・田中委員・岩瀬委員・太田委員代理（太田）・

柿野委員・神谷委員・寺部委員・鈴木委員

監事：2名

木藤監事・川村監事

顧問：3名

石川顧問・杉浦顧問代理（中村）・岩瀬顧問

事務局：12名

平賀・鈴木・小木曾・杉浦・木村・望月・若生・加藤・竹内・安形・小原・

村上

受託者：6名

(株)ドーマン・アイシー：粥川・林

アスカプランニング：伊藤

(株)サンデーフォークプロモーション：酒向

加藤煙火(株)：加藤・横田

5 傍聴者 5名

6 欠席者 6名(副大会長2名・委員4名)

副大会長：2名

小野副大会長・真田副大会長

委員：4名

伊藤委員・林委員・竹内委員・大島委員

7 内容・特記事項

◆**大会長(豊川市長)あいさつ**

まず冒頭に、能登半島地震では、240人超の方が犠牲となられている。哀悼の誠を捧げるとともに謹んでお悔やみ申し上げます。また大変寒さ厳しい中、今でも1万3千人以上の方が避難生活を送っておられる。お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

豊川市では昨日、来年度の予算案を記者発表させていただいた。今回、27の主要な事業があるが、その中で、市民まつり補助事業についても掲載させていただいている。予算額は、手筒まつりが最後に開催された令和元年度は、おいでん祭と手筒まつりの合計で2,900万円の補助、今回は合計で3,800万円の補助となっており、内訳はおいでん祭が1,800万円、新しい夏の市民まつりが2,000万円となっている。

おいでん祭と新しい夏の市民まつりには市民の皆さんも大変期待していると思うので、本日は皆さんの忌憚のない意見を出していただき、豊川市として事業を盛り上げていきたいと思っている。また、集客や企業協賛も重要になってくる。ぜひとも効果的な意見を出していただければ幸いである。

結びにあたり、本イベントの大成功を祈念して、私からのあいさつとさせていただきます。

◆**実行委員長あいさつ**

本日はお忙しい中、第4回目の実行委員会にお集まりいただきありがとうございます。

これまで事務局・委託事業者との打合せ、そして企画会議と数多くの会議・議論を重ねて、本日皆さんにお伝えする段階まで来た。

来年度のまつりは、去年のプレイベントとは規模が違うので、全く新しいものを作り上げるといってここまでやってきて、いよいよ、今年の8月が迫ってきている。本日は企画の骨子を提案して、承認をいただきたいと思っている。

この事業は、いくつかの課題がある中で進めている。まず時期の問題、開催は8月の最終土・日曜日で昼間が大変暑い。また雷等の天候の問題もある。そしてメイン会場は新しくできる「しばふ広場」とするため、現在、整備工事中でまだ見えきれていない箇所がある点や手筒煙火の扱い・揚げ手の問題、予算の問題など、課題も多いのが現状である。もちろん、安全対策も重要で、事故なく安心してできるような運営をしていくために、それぞれの課題をクリアすべく、様々な事にも配慮しながら進めている。

特に予算の面では、有料チケットの販売を大きくみており、協賛金収入は2,000万円を見込んで予算を組んでいる。金額に見合うような内容になるのか、全体的に安心・安全の運営ができるのかがポイントになっていくと思う。

今日は今まで詰めてきた内容を提案させていただくので、皆さんから忌憚ないご意見をいただき、皆さんで作りに上げていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

◆議事（協議）

（1）令和5年度 新しい夏の市民まつり実行委員会決算（見込み）について

＜協議＞・・・資料：1

事務局：資料：1について説明

出席者：意見等なし。

（2）令和6年度 新しい夏の市民まつり（仮称）について＜協議＞・・・資料：2

受託者・事務局：資料：2について説明

委員長：補足説明をさせていただく。資料1ページ、来場者数は延べ5万人に設定している。

資料2ページ、コンテンツの詳細は現在詰めている段階である。特にイベントの名称は非常に重要だと思っている。受託者を中心にいくつかの案を出して、覚えやすく魅力的なイベント名をつけようと考えている。

資料6ページ、打ち上げ花火の位置とステージ会場の客席の位置、そしてステージの位置の見え方を演出上どのように入れるかが重要である。

資料7ページ、客席については、今までの手筒まつりはマス席のみであったが、今回はマス席の後方にパイプ椅子席とテーブル席も用意している。

資料8ページから16ページ、パフォーマンスについての中身はこれから詳細を詰めていくことになる。ポイントはオープニングステージでの市民参加、メインステージの2時間を花火・音楽・光・パフォーマンスで飽きさせない構成にしている。花火の中には、手筒煙火・打ち上げ花火・仕掛花火・都市型花火も含

めて、様々な花火を予定しており、その中で、パフォーマンスとの演出・共演もある。自衛隊の和太鼓と手筒煙火の共演もできないかということも考えている。ステージの両サイドに共演エリアを設け、手筒煙火の保安距離のラインを外した所にパフォーマンスステージを設けているので、花火との共演の演出もできればと考えている。手筒煙火放揚ステージの後ろに布のスクリーンの設置を考えていたが、予算的に厳しいということもあり、トラスを組む事になった。揚げ手についても、煙火会社で手配する方々、青年会議所のメンバーを中心とした方々で今回は進めていく。

資料17ページ、司会者は小林拓一郎さんを想定しており、スケジュールは抑えてある。

資料18ページから21ページ、有料チケットは、一見高そうであるが、他の花火大会を見るとかなり高額な所もあるので、それほどでもないはずである。ただ、豊川市ではどうかという点で、ご意見等があればいただきたい。

資料22ページ、有料チケットの販売はプレイガイドを活用とあるが、プレイガイドも活用しつつ、他の方法もあると思うのでもう少し検討していく。

資料24ページ、マルシェについては、公園名が豊川公園であることから、「豊川公園マルシェ」にしている。

資料30ページ、「水合戦豊川夏の陣」について、今年度好評であったが人数が限られていたので、参加人数を合計で800名に増やしている。

資料31ページ、有料席も限られていることから、ステージ会場内に入れなくても有料コンテンツを映像等で楽しめるように、陸上競技場内の芝生部分に300インチのスクリーンを設けて、パブリックビューイング的に楽しめるようにしている。

資料34ページから36ページ、協賛については、苦心をしているところである。広告協賛で広告として出す価値があるイベントにしていく事が重要である。

スポンサー制度にして、合計で155社の方々に協賛していただければ協賛金が2,000万円集まるという想定になっている。露出の仕方もまだ確定ではないが、有料席の座席の後ろに協賛企業名を入れる等、できるのではないかと今工夫している所である。

最後に資料38ページ、実行員会予算について、事業費収入2,300万円、市からの補助金2,000万円、協賛金2,000万円である。

市からの補助金2,000万円は手筒まつりを行っていた時よりは上がったという話が大会長のあいさつであったが、その他は手筒まつりより大きく上がった予算を組んでいる訳ではない。

皆さんからご意見等があればお聞かせいただきたい。

委員：企業協賛について、広告宣伝費というメリットも大事だが、合わせて地域貢献や寄附という意味も含めて募集をかけていくことも大事ではないかと思う。

委員長：手筒まつりの際は企業名がパンフレットに入り、アナウンスも入って協賛のメリットがあったが、今回はなかなかアナウンスができないだろうと、HP等も

作成を考えている。またご意見いただければと思う。

委員：資料7ページのマス席は、急な雨のときの対応が必要ではないか。水の拭きとり等、マンパワーの部分が心配される。また、フリーエリアは横からも見られるのか。

委員長：雨の際の対応は、詰めるようにする。

フリーエリア横は植栽があり見られないし、安全管理上の観点からも横には人を入れないようにしようと考えている。

委員：前回の実行委員会の際、小野副大会長が使用してはどうかと話をしていたと思うが、OSGドリームコート（庭球場）の使用はどのようになっているか。キッチンカーについては、豊川商店街連盟でも部会があるため、ぜひ声かけしていただききたい。イオンモール豊川の大型ビジョンでも放映できないか。今年のお正月の初詣で、豊川稲荷を参拝する方がイオンモール豊川に駐車して、両者が潤った事例があったので、今回も上手くコラボレーションできればと、一つの提案ではあるがどうか。

委員長：キッチンカーについては、ぜひご協力をお願いしたい。

イオンモール豊川の大型ビジョンの活用についてはよいアイデアだと思うが、会場にも来てはもらいたいのので、皆で盛り上げる様に検討したい。

OSGドリームコート（庭球場）の利用については、事務局から説明をお願いする。

事務局：庭球場の使用については事務局、市内部でも検討したが、不特定多数の人を入れることの影響や砂入り人工芝のコートで整備したばかりの施設であること、テニスシューズなどの専用の靴が必要であること、コート内で飲食ができないなどの理由から、今回のまつりでは使用しないこととした。

委員：豊川青年会議所としては、手筒煙火の放揚に関わらせていただくが、手筒煙火の揚げ手の条件は必須か。

委員長：一応目安である。いきなり素人が揚げる事は危険でありできないので、目安を設けている。今後、詳細を詰めたい。

委員：2斤以上の手筒煙火の放揚経験が2回以上は必須ではなく、多少の経験があればよいとの認識でよいか。

委員長：資料7ページのステージ会場の構成の中で、両脇に大型LEDビジョンがある。

手筒煙火の揚げ手が大きく映るかもしれない。揚げ手にとっては素晴らしい演出である。2斤以上の手筒煙火の放揚経験が2回以上の条件は、こだわっている部分ではある。なぜならば、ある程度経験がないとスピード感を持ってきちんと安全に演出ができないのではないかと煙火会社からも言われている。最終的には煙火会社の方と詰めたいと思う。

委員：豊川公園マルシェのパフォーマンスは水に関連したパフォーマンスになるのか。

豊川に関連したパフォーマンスになるのか。

事務局：パフォーマンスのにぎやかしの部分はまだ具体的に検討できていない。予算面もあるが、水に関わらず、市民のパフォーマンスの発表の場や大道芸人の招聘

を考えている。

委員：企画会議で意見させていただいた豊川公園マルシェに人がどれだけ来るのかについて、パフォーマンス披露の場が3か所に増えていて、人が呼べる内容になっていると思う。ご配慮いただきありがたい。水合戦での青年部での協力についてはまだ詳細が分からないが、また内容・詳細を言っていただければ、できる範囲でご協力させていただきたい。

委員長：水合戦については前回の経験を活かして、ぜひご協力いただきたい。

委員：協賛スポンサーについて、金額と企業枠が決められているが、決定事項か。

委員長：例えばパンフレットの中で枠を取るとか、椅子に協賛社名を入れる等、ある程度のスポンサーの数を想定していかないといけない。スポンサー数と金額を考慮してこの様な形になっている。これからのご意見の中で、もっと増やした方がいい等あれば、変更することは可能である。

委員：各企業、団体は予定している協賛金額があると思うので、幅があるとよいのではと思う。

委員長：1万円とか2万円ぐらいの協賛の枠があってもよいのではないかと、とのご意見でよいか。

手筒まつりの時には、1万~2万円で数多くの企業にご協賛いただいていた、会議所の職員の方も電話でお願いをしていたという実態があった。今回は協賛の種類を絞った形にしているが、せっかく協賛したい、寄附したいという方が多くいらっしゃれば、枠を拡げてもよいとは思っているので、ご意見を参考にさせていただく。

委員：雨が降った時の対応は、まつりを持続可能なイベントとして考えていかなければいけない中で注意しなければと思う。今後、長い目で見た際には実施時期の検討も必要だと思う。市（市民協働国際課所管）で若者ボランティア体験講座・とよかわボラナビという事業を展開しており、若者の参加も期待できるので、ボランティアが可能な事業の中の一つに加えてもらえると、参加したいボランティアの方が増えるのではないかとと思う。また、これからの調整だとは思いますが、トイレの位置、暑さ対策の説明がなかったので少し気になった。

委員長：トイレの位置等、詳細の運営計画については、ご意見を参考にこれから作成していきたい。

実施時期についてはおっしゃる通りである。個人的には見直したいとは考えているが、夏まつりという設定で夏休み中の最終土・日曜日となっている。その中での最大の対策としては、日曜日への延期であるが、土・日曜日とも実施できない場合、有料チケットの払い戻し、イベント保険の対応がどうなるのか、予算面も考慮し詰めていかなければいけない問題である。今回は事業者にお願いしているので、手筒まつりのように、雨天の時に、皆が対応するというオペレーションは想定していない。ただ、そうなるとお金に換算されていく事になるため、その辺りも詰めていかなければならない。

委員：フリーエリアと有料エリアの誘導はどうなっているか。またフリーエリアの運営

管理はどうか。また、協賛を募るということだが、期日はいつまでか。

委員長：協賛スポンサーの期限は、制作物の作成を考えて、いつまでにお願ひすればよいか。

受託者：資料37ページのスケジュールの一番上に協賛セールスの期間の設定を記述させていただいている。この期間に関わらず、3月位から随時、準備でき次第、案内したいとは思っている。なるべく早く動きたいと思っている。

委員長：協賛スケジュールについて補足説明する。まつりのPRは「おいでん祭」からスタートしたいと考えている。その時に合わせた制作物が必要なもので、確定ではなくともスタートはそこを考えている。5月初旬までに決定していきたい。フリーエリアの警備については、事務局より説明をお願いしたい。

事務局：警備については、豊川警察署と随時、打合せを行い調整している状況である。警察署からもフリーエリアの人裁きを懸念していると指摘されている。来月中旬、警察署へ出向き、警備の詳細を詰める予定なので、次回の実行委員会にはお示しできると思う。

委員：資料32ページの交通規制に関連して、鉄道に関する誘導、名鉄への案内はどのようになっているか。

事務局：交通規制に関しては、これまでに2回ほど豊川警察署へ相談・打合せをしており、概ね図に示している箇所・時間で交通規制をかけることで調整をしている状況である。駐車場等の誘導も詰めている状況である。

鉄道を使っての来場も考えられるため、名鉄諏訪町駅と豊川公園の人の導線も警察と詰めており、総合体育館前の交差点や多くの人が行き交う箇所へは警備員等の配置が必要とのご指導をいただいているところである。

名鉄への案内は現状まだしていない状況である。

委員長：名鉄への案内も今後していく予定である。骨子が決まり次第、関係各所へオープンにしていく予定である。

委員：ステージ会場の構成について、弊社はケーブルテレビであるため、イベントのステージ部分の生中継もしくは録画放送を予定している。図面には記載がないが、音響や正面から撮影できるカメラ位置の席の想定はされているか。

事務局：今後、調整させていただきたい。

委員：資料31ページの陸上競技場のビジョンの設置で映像を流すという事だが、ステージ会場に設置のLEDの大型ビジョンと放映する映像は同じものか。

受託者：被るものもあるが、基本的には違うものかと考えている。

委員長：カメラは何台を想定しているか。

受託者：3台を想定している。

委員長：ぜひ、CCNetさんからも個別に事務局にアドバイスいただき、記念に残るような作品を作成していただきたい。

委員：昨年のイベントの放送（録画）は好評であった。せっかく映像を撮るという事であれば、弊社の映像をお使いいただく等、ご協力させていただきたい。イオンモール豊川にも弊社の回線が入っており、協力もできそうなのでご相

談させていただければと思う。

告知ではケーブルテレビでもCM動画であれば流すことができる。CMを作成すれば、YouTube広告等も活用でき、効果があるのではないかと思います。映像でPRした方が、チケット購入等の意欲に繋がると思うので、ご検討いただければと思う。

委員長：事務局はぜひ、CCNetさんと個別に情報交換し、進めるようにしてほしい。

委員：資料36ページの手筒煙火協賛については、協賛金額に含まれているのか。全ての手筒煙火に協賛という認識か。

委員長：協賛金とは別に手筒煙火に対する協賛で、祈願放揚のステージで揚げられたらと考えている。

委員：クラウドファンディングも検討してみてはどうか。

委員長：事務局の方でも研究する。

委員：参加したい事業になるかという点では、素晴らしい骨子ができ上がってきていると思う。7時間半のイベントになるが、人が流れてくるのは15時頃からはないかと思う。15時頃からは人が滞留すると思うので、暑さ対策とトイレの設置は重要であると思う。田中委員からも意見があったように、人が滞留してくると暑さもよりイオン豊川店に流れそうな気もするため、アナウンス・依頼は必要ではないかと思う。資料36ページの手筒煙火協賛の「祈願放揚煙火」で揚げるのであれば、お祝いの内容や説明アナウンスも入ると思うので、時間をとるのではないか。有料チケットについては、テーブル席は予算面から見てすべてお弁当付きでもよいのではないか。

委員長：諸々、ご意見をいただきありがたい。参考にさせていただく。手筒煙火協賛の8万円・5万円の金額設定はどう感じるか。

委員：払う人はいると思う。

委員長：手筒まつりの時は2万円であった。少し高いかなと思っているが、写真等も付いており、喜んでいただき収入もあればいいと考えている。

顧問：安全対策、雑踏事故対策、交通対策については、企画会議等でお話しさせていただいている。引き続き、調整させていただきたいと思っている。

委員長：ご指導をよろしくお願いしたい。

顧問代理：豊川公園マルシェのグルメやお弁当付きのチケットも販売されるということなので、食中毒には十分に気をつけていただき、主催者として事故がないようにしていただきたい。出店するにあたっては、許可申請が必要となるため、ギリギリではなく早めに相談して対応していただきたい。また、出店者説明会も開催していただきたい。

委員長：ご指導をよろしくお願いしたい。

顧問：熱中症対策で、応急救護所は設定されるか。また、資料32ページの交通規制について、救急車・消防車は通行可能か。

委員長：応急救護所は設置する予定である。また、救急車・消防車は通行可能である。救急の際の車両進入経路など、警備・運営計画に盛り込む予定である。

副大会長代理：実行委員長から和太鼓と手筒煙火の共演という素晴らしい提案をいただいた。駐屯地の太鼓部とも話をし、具現化できるようにしていきたい。太鼓の弱点である雨が降った場合や手筒煙火の火花が降ってくる可能性なども考えながら、演奏時間等も具現化していきたいと思っている。

副大会長：今日の会議でイメージが湧き、よいイベントになるのではと思っている。皆さんから意見も出ていた熱中症対策もそうだが、想定されるリスクと対策を事前にしっかり準備していただきたい。

委員長：皆さんからご意見いただき、骨子については理解いただいているのではと思っているが、安全面や安心対策を含んだ警備・運営計画はこの先しっかりと作っていく事が重要である。

ボランティアの方をはじめとするいろいろな市民の方の協力が得やすいようにというご意見もいただいた。

事務局：事務局より1点補足説明をする。資料6ページの会場構成図について、打ち上げ花火実施場所は自衛隊演習場（グラウンド）で、2号玉と3号玉での打ち上げを計画している。

前回の実行委員会以降、3号玉の打ち上げについて検討・議論を重ね、3号玉の保安距離内に免許センターがかかっているが、免許センターとも調整をし、了解を得た。3号玉の打ち上げも計画しているのでご承知おきいただきたい。

委員長：以上の内容の骨子で進めさせていただきたい。

承認いただける方は拍手をお願いしたい。

出席者：拍手多数（承認）

委員長：ありがとうございます。賛成多数と認める。

これを骨子として、企画会議、事務局・受託者との打ち合わせ等でさらに詳細について詰めさせていただく。

（3）今後のスケジュール等について〈協議〉・・・資料：3

事務局：資料：3について説明

委員：広報「とよかわ」に載せる時期が7月・8月号となっているが、実行委員会の開催は4月となっている。載せる情報にもよるが、入稿は間に合うか。

事務局：7月号であれば5月下旬が初稿校正になるので、スケジュール的には間に合う。

◆その他

司会：その他、皆様方よりご意見・ご質問等はあるか。

出席者：意見等なし。

司会：ご意見・ご質問等があれば事務局までお願いしたい。年度替りにより、各委員等の所属団体・機関等の異動、任期満了等で実行委員が変更となる場合には、次の方への引継ぎをよろしくお願いしたい。

◆統括

大会長：本日、みなさんから忌憚ない意見をいただいた。これらの意見を参考によりよいイベントにしていきたいと考えているので、今後ご支援の程、よろしくお願ひする。